

高等学校 地理歴史科

地理 A (1年) 単元名:「ヨーロッパ」(EU 離脱に賛成ですか? 反対ですか?)

府立西寝屋川高等学校 授業者 門野 洸平

I 単元を通して育成をめざす資質・能力

【めざす生徒の学ぶ姿】

ヨーロッパの地誌についての知識を習得した上で、EU に加盟することのメリットとデメリットを理解し、イギリスの EU 離脱の是非について考え、他者と意見交換をすることで互いの考えを深める。

【学習指導要領(平成 30 年告示)との関連】

「地理総合」 内容 B 国際理解と国際協力(1) 生活文化の多様性と国際理解 ア(ア) イ(ア)

知識及び技能	人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解する。
思考力、判断力、表現力等	ヨーロッパについて、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などを多面的・多角的に考察し、表現する。
学びに向かう力、人間性等	イギリスの EU 離脱の是非について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。

II 単元計画(資質・能力育成のプロセス) 全 3 時間

時	めざす生徒の姿	学習活動・学習内容	教師の支援・指導 (★深い学びを生み出す工夫)
1	「ヨーロッパの各国が多様な自然環境を背景に、伝統的な生活様式を確立してきたことがわかった。」	<p>○ヨーロッパの国名、自然環境や生活文化の特徴に関する知識を整理する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入として中学校で学んだヨーロッパに関する既習事項を想起する。 ・ヨーロッパの国名や地形を、教科書や地図帳を調べてワークシートに記入する。 ・ワークシートを使って、各国の自然環境や生活文化の特徴を整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スライドでヨーロッパの特徴的な物や風景などを示し、生徒からの発言を促し、対話しながら確認する。 ・特に次時の学習につなげるために産業の面で影響力が大きいイギリス・フランス・ドイツ・スペイン・イタリアに注目させる。 ★各国が各々の特徴を持ちつつも、ヨーロッパ地域としての共通性、つながりがあることに気付かせる。
2	「EU加盟国で分担して飛行機を作ることで、自国の得意分野を生かした工業を行うことがで	<p>○ヨーロッパの農業について整理する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イギリス、フランス、ドイツの食生活に当てはまる絵を選ぶ。 ・ワークシートを使って、ヨーロッパの農業の特徴と自然環境との関連性を整理する。 <p>○ヨーロッパの工業について整理する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパにおける工業が盛んな地域を確認し、その特徴を整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各国の特徴的な料理をスライドで示して、ヨーロッパの農作物や農業に関連付けて、イメージしやすいようにする。 ・前時で学習した自然環境に関連して農業の特徴が異なり、食生活に影響を与えていることに気付かせる。 ・工業が盛んな地域が、どのような地理的環境にあるのか考察させる。

きるんだなあ。」	<ul style="list-style-type: none"> ・飛行機の製造がヨーロッパでどのように行われているか、教科書を用いて確認し、なぜ、現代のヨーロッパでは大型旅客機を国際分業で生産するのかを考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・飛行機の製造を各国で分業、協力して行っていることに気付かせる。 ★各国が協力するために、関税などの障壁をなくし、人やモノの移動を自由にする仕組みが必要なので、EU (ヨーロッパ連合) が誕生したことに気付かせ、次時の学習につなげる。
「EU に加盟することのメリットとデメリットを考えると、私だったらイギリスの EU 離脱に賛成(or 反対)だな。だって、〇〇だもん。」	<p>○EU に加盟することのメリットを把握する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・EU に加盟することで得られるメリットを○×クイズ形式 10 問で確認する。 ・戦後ヨーロッパが統合に至った流れを確認する。 <p>○EU に加盟することのデメリットを把握する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・EU の課題について、EU 加盟各国の月あたりの最低賃金や人口移動に関する資料を用いて考察する。 ○イギリスの EU 離脱の是非を考え、表現する ・イギリスが EU からなぜ離脱しようとしているのか、その理由を新聞記事を読んで理解する。 ・もし自分がイギリス国民なら離脱に賛成か反対かを選択し、その理由を記述する。 ・隣の席の人と意見を交換し、互いに相手の意見を書き留める。 ・全員に賛成か反対かを表明し、数人は口頭で理由を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・EU の動向が今後の世界や日本にとっても大きな影響を及ぼすことを強調し、自分ごととして生徒の関心を高める。 ・クイズの答え全ては○。全ての事項がメリットになりうることを説明する。 ・共通通貨「ユーロ」を示し、そこに描かれているモチーフから EU の理念を理解させる。 ・工業や金融が盛んな西ヨーロッパで賃金が高く、東ヨーロッパから多くの移民が働くためにやってくることに気付かせる。 <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>もしあなたがイギリス国民なら、イギリスの EU 離脱に賛成ですか? 反対ですか? それはなぜですか?</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・イギリスの離脱について賛否両論あることが読み取れる新聞記事を示す(翌月に総選挙予定)。 ・本時で学習した EU 加盟のメリット、デメリットや前時までの既習内容をふまえて考えるよう促す。 ★単元で学んだ事項を活用して、現実に行っている問題を主体的に考察させる。 ★他人の意見を聞いて多様な考えがあることに気付かせる。

III 深い学びを実現するための指導の工夫

◆地理的な見方・考え方を働かせる多様な資料を活用する。(全時)

教科書に掲載されている資料や地図帳、必要に応じて写真や統計資料や新聞記事などを活用した。例えば、自ら地図帳でヨーロッパの気候や地形について調べさせることで、位置や分布といった地理的な見方・考え方を働かせることにつなげている。

◆課題の解決を見通して知識を整理する。(第 2 時)

ヨーロッパの地理的環境に関する個別の事象についての知識を整理することで、各国の地理的環境やそれと相互に影響を及ぼす生活文化の多様性や共通性に付き、単元の終末で考察する課題の解決につなげる。

◆単元を見通す問いを設定し、生徒が主体的に考察し、表現する場面を設ける。(第 3 時)

「もしあなたがイギリス国民なら、イギリスの EU 離脱に賛成ですか? 反対ですか? それはなぜですか?」という単元を見通す問いを設定し、本単元で学習したことを、課題解決を通して主体的に捉えなおすことができるようにする。このとき、現実に行っている問題を取り上げることで、生徒たちが自分ごとと捉えて考えやすくする。さらに、他者と意見を交換することで、多面的・多角的に問題を捉えることができるようにする。

IV 生徒はどのような学びを実現したか

○イギリスの EU からの離脱問題を、根拠に基づいて主体的に考える

本実践では、単元を見通す問いとして「もしあなたがイギリス国民なら、イギリスの EU 離脱に賛成ですか？反対ですか？それはなぜですか？」を設定し、イギリスの EU からの離脱という現実が起こっている問題を、主体的に考え、他者と意見交換することで考えを深めることができるようになることをねらいとした。第1時は、ヨーロッパの各国が多様な自然環境を背景に、伝統的な生活様式を確立してきたことや、ヨーロッパの言語や宗教などに共通性があることに気付くことができた。第2時は、第1時の学習した知識をもとに、ヨーロッパの農業の特徴と自然環境との関連性を整理したり、工業の盛んな地域の立地条件について考察したりすることを通して、次時の学習する意義に気付いた。第3時は、前半では、第1、2時で学んだことを活用しながら、EUに加盟することのメリット、デメリットについて整理をした。後半では、「イギリスの EU 離脱に賛成か？反対か？」という問いについて、ここまで学んだことや資料から読み取った情報を根拠に考察しようとしていた。

ポイント①

第2時

☆なぜ現代のヨーロッパでは大型旅客機を国際分業で生産するのかを考察する

前時では、【自然環境】【歴史】について学習をし、本時では、【工業】について学習を重ねた。その後、なぜ現代のヨーロッパでは大型旅客機を国際分業で生産するのかについて考察した。

【自然環境】

- ・日本よりも面積が小さな国がヨーロッパにはたくさんある。
- ・国際河川であるライン川がドイツやフランスなどを流れている。
- ・物資の運送にもライン川の水運が利用されている。

【歴史】

- ・資源が乏しいヨーロッパで、資源や燃料(石炭)の奪い合いが続いた。
- ・2度の大戦でヨーロッパは荒廃し、アメリカに経済力で負ける。
- ・戦後、ヨーロッパ各国は協力して発展をめざすようになる。

【工業】

- ・エネルギーが石炭から石油へ転換し、石油の輸入に便利な臨海部に工業地域が集まった。
- ・イギリス南部からイタリア北部に至る地域、青いバナナには、大都市とそれを結ぶ発達した交通網があり、高い経済水準にある。
- ・エアバス社の最終組立工程がフランスのトゥールーズで行われている。

【生徒の記述より】

～なぜ現代のヨーロッパでは大型旅客機を国際分業で生産するのか考えてみよう～

- ・1つ1つのヨーロッパの国は小さいので、大国と勝負するためには、産業としての競争力を高める必要がある。
- ・大きな部品は国際河川を使って船で運べし、各国で分担すると大規模化して効率よく作られるため。
- ・EU域内なので部品を組み立て工場まで運ぶのに関税もかからないので安く上げることができる。

「EUの中だから、モノの移動に関税がかからないというメリットがあるなあ。」



授業者はココを見る！

様々な知識を結び付けて、現代のヨーロッパでは大型旅客機を国際分業で生産するのかについて考えることができているか？
第1、2時で学んだことをもとに、必要な情報を組み合わせて、なぜ現代のヨーロッパでは大型旅客機を国際分業で生産するのかを考察し、自分の言葉でまとめることができるか。

ポイント②

第3時

☆小さな問いを重ねながら大きな問いに迫っていく！

教員から投げかけられる問いを1つ1つ考えながら、ヨーロッパ統合への歩みやEU間のモノや人の行き来について確認した。その過程で、EUに加盟することで得られるメリットやデメリットについて整理した上で、「もしあなたがイギリス国民なら、イギリスのEU離脱に賛成ですか？反対ですか？それはなぜですか？」という単元を見通す問いに向き合う。

「EU結成の目的は何だろうか？」
「EU結成までにどのような経緯があったのだろうか？」
「どのような考え方がEUの地域統合を支えたのだろうか？」
「なぜEUとしてまとまるようになっているのだろうか？」

「なぜEUに加盟していない国があるのだろうか？」
「なぜEU内では労働者が多く移動しているのだろうか？」
「なぜEUとして経済発展しているのだろうか？」

EUの離脱に賛成か反対かを考える参考資料として、統計資料や新聞記事なども用意し、多面的・多角的に考察できるようにした。

既習事項や諸資料を活用して考えた意見をワークシートにまとめた上で、隣の席の生徒と互いどう考えたのかを伝え合った。生徒からは「同じ賛成だけど理由が違う」「賛成、反対と全く正反対の結論を出したが、相手がそう結論を出すのも納得できる」と違いを認め受け入れる姿勢が見られた。

「賛成の人は手を挙げて」

～EU離脱に賛成～	～EU離脱に反対～
<ul style="list-style-type: none"> ・移民に仕事を奪われなくなるから。 ・甘えるな！自分の力でなんとかしろ。(イギリスは自分たちだけでやっていける) ・もうEUの取り決めで縛られたくない。イギリス独自の政策ができるから。 ・自分たちの保障だって満足していないのに、ジャンジャン流れてくる移民に自分たちが収めた税金が使われるなんて納得できない！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国企業の工場が撤退するからから仕事なくなるし、イギリスが潤わなくなる。 ・協力したからできたことができなくなったら、これまでの行いが全部無駄になるから。 ・貿易についてEU内では関税がかからなかったが離脱すると関税がかかり、経済が鈍る。 ・EUを離脱したらパスポートが必要になったり、預金ができなくなるので、デメリットが増えるから。

授業者はココを見る！
学習した内容や諸資料をふまえ、イギリスのEU離脱の是非について考えることができているか？
本単元で学んだことや諸資料から読み取った情報をもとに、自然及び社会的条件との関わりや、地域の結び付きなどに着目して、地域的課題を多面的・多角的に考察することができるかを評価する。

V 実践を終えて

授業者より

今後の課題として、生徒がより主体的に学び、深く理解するために、生徒が発した問いから課題を設定し、自ら資料を収集できるような授業構成を考えていきたいです。ヨーロッパの経済的・政治的統合は、他国と国際的な協力を進め、平和な秩序をいかに作り出すのかという点で、世界の行く末を占う重要なテーマです。他の地域を学ぶ際に、自他の文化を尊重し、国際理解を図ることの重要性を自国のことに引き付けて考えられるような工夫もさらに必要だと思いました。